

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年9月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670101973
法人名	医療法人 明輝会
事業所名	グループホーム よしの村(あやめ棟)
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町3822番地1 (電話) 099-244-4412
自己評価作成日	平成26年9月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年10月2日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1棟目の開所から15年を迎え、地域との関係も地道に築いてきました。避難訓練への協力をいただく一方、町内会行事に協力をしたり入居者が参加をしたりする中で、事業所やサービスに理解をいただいていることを実感します。入居者の活動では、屋外へのアクセスのし易さ、ゆったりとした敷地を活かして、屋外で過ごす機会を可能な限り持ちながら季節を五感で感じていただくことを支援しています。園芸療法活動はその一つとして年間を通した計画のもと進めています。音楽療法についても、職員が前職から引き継いで意欲的に取り組んでいます。法人のネットワークのなかで、医療・看護・リハビリ・栄養の専門職に相談しやすい環境があり、入居者の健康面をサポートできる体制はご家族にとっての安心感にもつながっていると考えています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の唱和など行い、実施している。理念の共有は行えているが、実践となると足りない部分が多い。行事等に参加し、交流の機会を増やす。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のイベントに参加、もしくはイベントを行い、交流をはかっている。行事などには参加できているが、その他の地域とのふれあいとなると、挨拶ぐらいになる。挨拶程度ではなく、利用者から起案するなど、もう一歩踏み込んだ交流の機会を作りたい。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議などの努力はあるが、生かしているという実感はない。地域の人々からのフィードバックを感じない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行っており、報告は受けているので、活かされているのではないかと。参加していないので、具体的にはわからないが、問題なく行っているのではないかと。職員や地域の方など、もっと参加できるとよいのではないかと。参加しやすい日時にしてはどうか。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村担当者との関わりが直接は無く、密に連携をとっているわけではない。具体的にはわからないが、最低限の関係は築けているのではないかと。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会などを行い、身体拘束を行わないよう、取り組んでいる。施設全体で適切に取り組んでいる。現状に不満はなく、今のまま取り組めれば良い。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会など行っている。また、日頃より虐待を行わないよう、心がけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度など理解している部分もあるが、まだわからないことが多い。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	十分な説明を行い、ご家族の理解を得られている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	意見は少ないが、反映されていると思う。意見を聞き反映させているし、その姿勢も評価できる。ご家族をカンファレンスに呼ぶなど、意見の共有をもっとできるようにしてはどうか。		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	意見を聞く機会はある。機会はあるが、活発ではない。意見が少ない気がする。もっと充実した意見交換を行えるようにして欲しい。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	わからない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修などを行いトレーニングを行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>行えているし、参加もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人に話を聞くなどして、不安の無いよう努めている、また努めたい。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談しやすい雰囲気作りを心がけ、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見極めるため、意見交換し、支援できるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護している、してあげる、にならないよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に電話をかけるなど、築こうと努力してはいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	支援していきたいが、スタッフの人数等考えると、遠方への外出などは難しい。誕生日等を介して行っている。月に一回でも行えれば良いが、方法が思いつかない。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	努めているが、人間である以上、難しい場合もある。そういう場合、声かけなどを工夫して行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	通夜などには参列している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	検討している。もしくは、そのつもりである。声かけを行い、希望を聞いたりしているので、できているのではないかと。まだまだ、本人の本音を引き出し切れてない。いっそうの努力が必要。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の何気ない会話から、把握しようと努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介助、声かけを通じて、完全ではないが、努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員の意見を取り入れ、行っている。ケアカンファを通じて、意見交換を行って作成できている。もっと質の高い意見を出せるようにできないか。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録だけでなく、連絡ノートなどを通じて共有し、活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急時の病院送迎、買い物代行など、取り組んでいる、または努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事などに参加し、できていることもあるが、すべてに参加できず、十分ではない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望などを聞くことにしているが、家族の判断にも迷いがあり、内科主導で決められていると感じることもある。セカンドオピニオンなど、他の専門医療機関の意見も聞けるようにしてみようかと思うこともある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週に一度確実に、相談できている。利用者の異変に気づき、逐次報告できるよう努めている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	情報交換が行えている。ただし法人内の医療関係に限る。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	実際に行ったことがないので、具体的なことはいえないが、勉強会などは行っている。皆で情報共有し、取り組んでいると思う。本人の意思確認を尊重できればいい。認知症である以上、難しい。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	不安である。どのような状態であれ、まず、内科へ報告することとなっており、自分の判断では救急車を呼べないため、十分ではないと感じる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練等行っている。定期的に行い、地域の方の協力もある。訓練の数を増やすのはどうか。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	同じ目線で話す、居室で過ごしたいときは過ごしていただくなど、対応している。皆できているが、時折、声かけが悪くなるなど、配慮に欠けるときもある。勉強会など行い、声かけを工夫するような努力が必要。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるように心がけているが、入浴時間等、こちらで決定してしまうこともある。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行えるようにしているが、外出を希望しているときなど、時として難しい場合もあり、希望に添えていない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人と相談し、好みに応じている。靴であれば転倒の可能性などないかなど、身につけた場合の危険性も考えた上で支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皮むきなど、できることは行っているが、食材を渡し、包丁を預けて切って頂くなど、危険性を感じ、できていないこともある。声かけを行い手伝っていただいているし、多彩な食事がとれていると思う。手伝いたくない人をどうやって引き込むか、考えていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人の状態に応じ、好き嫌いや、体調を窺いながら、支援を行えている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	できる人は行っているが、ご本人の強い拒否などもあり、完全ではない。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的にトイレ誘導するなど、可能な限り行っているが、時に誘導を忘れてしまい、利用者の失禁などがある。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の運動や下剤のコントロールで対応を行っているが、季節により体調も変わるので、完全に把握しているとはいえない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日時は決まっているが、強制はせず、その人に合わせた入浴を行っている。時間帯を気にしながら行っている感じがある。一人一人にあわせて気持ちよく入浴していただける環境作り。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	気分が悪いなら、居室へ誘導し、休息できるよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に変更があれば、様子観察し、気分不良やバイタル異常などの状態変化があれば内科に報告できるよう、努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きな物を食べる、外出するなど、できる限りのことはしているが、職員の人数が限られているため、旅行、自由なショッピングなどはなかなかできず、十分ではない。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	支援するよう努めているが、その日の都合、利用者の状態により、バラバラで希望通りとはいえない。本人の望む時間帯などではないし、遠くまでは行けないが、最低限のことはできていると思う。外出の回数を増やす。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知症もあり、本人による管理が支援できていない。または難しいと感じている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>お礼の電話がしたいなどの申し出があれば対応しているが、こちらから連絡を取らないかと、声かけをすることは少ない。手紙などは、拒否される方もいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>建物の構造上の問題もあるが、壁紙や花を飾るなど、季節感のある空間を意識して行っている。壁紙を作成するなど、できている。構造上難しいところもあるが、改善できるところは、改善していきたい。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>スペースが狭いと感じるが、互いの正確を考えて座る場所を決めるなど、行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物があり、居心地はいいと思うが、利用者によっては、物が多くて管理できないなどもあり、改善が必要。おおむね行えていると思うが、利用者によっては、物が多かったり、少なかったりと、十分ではない。もう少し本人の希望を聞いたり、押し入れの中を片付けたりなど、改善できれば良い。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差など、まだ対応できていないところがある。バリアフリーを目指した環境ができれば良い。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	3	1 ほぼ全ての利用者の
		3	2 利用者の2/3くらいの
		1	3 利用者の1/3くらいの
		0	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	2	1 毎日ある
		2	2 数日に1回程度ある
		3	3 たまにある
		0	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	3	1 ほぼ全ての利用者が
		1	2 利用者の2/3くらいが
		3	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	1	1 ほぼ全ての利用者が
		5	2 利用者の2/3くらいが
		1	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	0	1 ほぼ全ての利用者が
		1	2 利用者の2/3くらいが
		5	3 利用者の1/3くらいが
		1	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	7	1 ほぼ全ての利用者が
		0	2 利用者の2/3くらいが
		0	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	4	1 ほぼ全ての利用者が
		3	2 利用者の2/3くらいが
		0	3 利用者の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1	1 ほぼ全ての家族と
		2	2 家族の2/3くらいと
		3	3 家族の1/3くらいと
		0	4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	0	1 ほぼ毎日のように
		1	2 数日に1回程度ある
		2	3 たまに
		4	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	0	1 大いに増えている
		6	2 少しずつ増えている
		1	3 あまり増えていない
		0	4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	3	1 ほぼ全ての職員が
		2	2 職員の2/3くらいが
		2	3 職員の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	2	1 ほぼ全ての利用者が
		1	2 利用者の2/3くらいが
		2	3 利用者の1/3くらいが
		2	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	2	1 ほぼ全ての家族等が
		5	2 家族等の2/3くらいが
		0	3 家族等の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない